

**製品名: 4E-BP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21279**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:13kD;Observed MW:17kD

**抗原情報**

遺伝子名	EIF4EBP1
別名	EIF4EBP1;Eukaryotic translation initiation factor 4E-binding protein 1;4E-BP1;eIF4E-binding protein 1;Phosphorylated heat- and acid-stable protein regulated by insulin 1;PHAS-I
遺伝子 ID	1978.0
SwissProt ID	Q13541
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

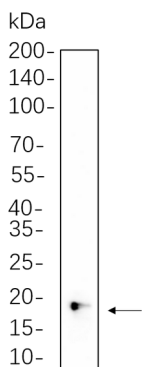
**背景**

細胞局在: 核。この遺伝子は、翻訳抑制タンパク質ファミリーの一員をコードしている。このタンパク質は、真核生物翻訳開始因子4E (eIF4E) と直接相互作用する。eIF4E は、40S リボソームサブユニットを mRNA の 5'末端にリクルートする多サブユニット複合体の制限因子である。このタンパク質と eIF4E の相互作用は、複合体の組み立てを阻害し、翻訳を抑制する。このタンパク質は、紫外線照射やインスリンシグナル伝達などの様々なシグナルに応答してリン酸化され、eIF4E から解離して mRNA の翻訳を活性化する。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Jurkat 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を 4E-BP1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。